

日常生活と放射線

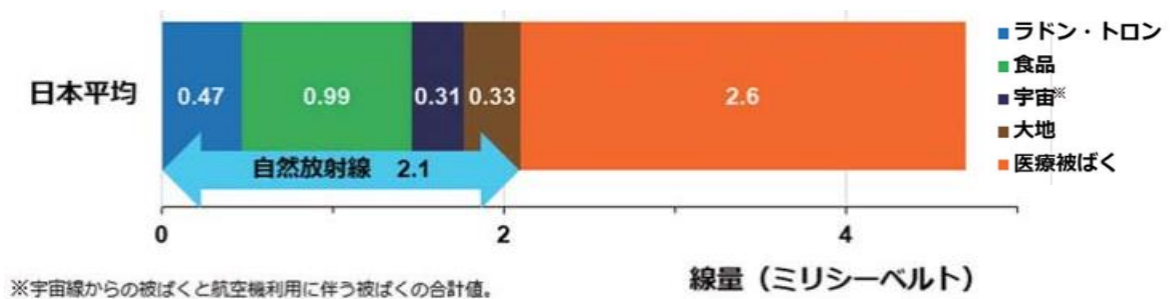
- ・我々は、普段の生活の中でも、放射線を受けています。
- ・放射線は、「自然放射線」と「人工放射線」に分けられます。

(1) 自然放射線

- ・我々は、宇宙、大地、食物や空気中のラドンにより日常的に被ばくしています。
- ・生活環境等によりますが、日本平均では年間一人当たり約 2.1mSv(ミリシーベルト)と見積もられています。

(2) 人工放射線

- ・レントゲンや CT スキャン等の医療に利用されている放射線、核実験の放射性降下物等があります。



被ばくの種類

- ・高線量被ばく(大量の放射線を受けた)
- ・低線量被ばく(少量の放射線を受けた)
- ・急性被ばく(一度または短期間に被ばくすること)
- ・慢性被ばく(長期間にわたって被ばくすること)

同じ線量を受けた場合、少しずつ被ばくした場合の方が、一度に被ばくした場合よりも、影響は小さくなります。

国際的な合意に基づく科学的知見によれば、放射線による発がんリスクの増加は、100 ミリシーベルト以下の低線量被ばくでは、他の要因による発がんの影響によって隠れてしまうほど小さく、放射線による発がんリスクの明らかな増加を証明することは難しいとされています。